

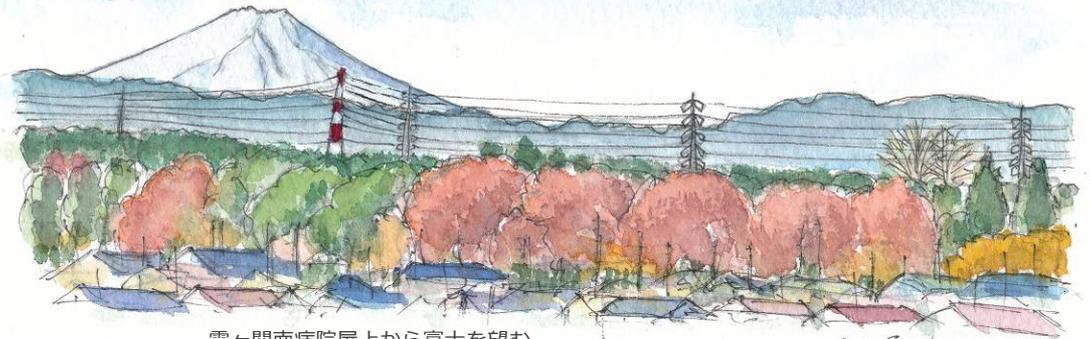
発行 医療法人真正会 埼玉県川越市安比奈新田283-1
ホームページアドレス <http://www.kasumi-gr.com/>
メールアドレス info@kasumi-gr.com

設立理念 老人にも明日がある



目次

- 理事長 巻頭の言葉
- HC部 新年のあいさつ
- CC部 新年のあいさつ
- 外来からのお知らせ
- 外来担当医一覧表
- 行事報告
- 研修報告
- ボランティア報告



霞ヶ関南病院屋上から富士を望む

M. Saito

今年のテーマ『愛言葉 明日に向かう 合言葉』

新年明けましておめでとうございます。寒気殊のほか厳しい折、いかがお過ごしでしょうか。昨年は私たち法人にとって、昭和47年に霞ヶ関中央病院開設以来40年の記念すべき年でした。笠幡そして安比奈の地で40年間も地域の皆様に育てていただいたことが今につながっています。本当にありがとうございました。今年は新たな一步を踏み出す年になります。今までのご厚情に報いるためにも、地域に求められるサービス提供に徹していきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

さて毎年スタッフから募集している真寿会・真正会共通の「今年のテーマ」ですが、若手のリハビリスタッフ2名が応募しました「愛言葉 明日に向かう 合言葉」に決定しました。

応募の理由は、入院されている患者さんに相談したところ「明日に希望が持てる病院がいいな」と言われたことがヒントになったそうですが、患者さんとの合作と言える素敵なテーマが選ばれました。まさに私たちの設立理念の「老人にも明日がある」と、日頃大切にしている温かいコミュニケーションにもつながる素晴らしいテーマです。この一年、どんな言葉も実践しなければ意味がありません。心して取り組んでいきたいと思っております。

地域にとって私たちができること、言い換えれば、私たちがやるべきことをしっかり見据えて、一步一步前進していきたいと思っております。私たちの活動に注目していただきご期待いただければ幸いです。

ホスピタルケア部より新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。皆様方にとりまして良い年でありますように、心よりお祈り申し上げます。

さて昨今、医療機関における「質の向上」は大変重要な課題です。高度な医療機器・医療行為や専門医の数といった大学病院のような急性期医療の場での「質」とは違い、当院のように多くの専門職が一体となりリハビリテーションを行っていく場での「質」は、専門職としての技術だけではなく、チームの一員としての立場で他の職種と良好な関係作りや情報共有が図れるといった技量と捉えてもいいかもしれません。私たちは今までも、個々の立場で専門性を追求しつつも他の多くの職種と関わっていく（多職種連携といいますが）技量の向上を常に意識してきました。そのため、多くのスタッフが病院内外での勉強会や研修会・学会発表などに積極的に参加しています。当法人内では、誰かが上から強制的に教える「教育」ではなく、皆とともに学びながら成長していくといった意味から「共育」と命名しているのもその一環です。最近では、私たちの考え方が地域に受け入れられてきたこともあり、埼玉県立大学や埼玉医科大学の学生による多職種協業実習や地域医療研修の場としても当院が利用されてお

ます。また、今までも川越市医師会看護専門学校の実習や各種リハビリテーション教育機関などの実習も受け入れてきておりましたが、今年は看護大学の実習や認定看護師の研修先としても協力していくこととなりました。人に教えるということは、自らもそれ以上に勉強していかなければならないということですから、このような実習の受け入れ先になることで病院の「質の

向上」につながり、そして当院の利用者の方々への安心につながっていくことと思っております。なかなかこのようなお話を地域の皆様伝える場がないことから、年頭の挨拶を兼ねましてお知らせいたしました。

本年も、引き続き良質な医療、ケア、リハビリテーションを皆様方に提供していく所存ですので、よろしくようお願い申し上げます。



伊藤 功
(霞ヶ関南病院 病院長)

コミュニティケア部より新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

この冬は寒い日が続く、ウィルス性胃腸炎やインフルエンザなどの感染症も猛威をふるっていますが、皆さまは穏やかな新年をお迎えでしょうか。在宅で過ごされる皆さまを様々な形でサポートさせて頂く部署

「コミュニティケア部」は昨年新しく「地域包括支援センターだいとう」と、「霞ヶ関中央クリニック訪問リハビリテーション」が加わりさらに大所帯となり、200名を超える職員が働いています。各部署は場所が分れており、仕事の内容も訪問や通所などなかなか皆で一度に顔を合わせる事が少ない部署でもあります。そんな私たちが、皆で集まって数年前から続けている部内の勉強会や部全体で行う研修をご紹介します。



斉藤 克子
(コミュニティケア部 部長)

まず数年前から続けている小さな勉強会があります。皆で文献など読んで勉強してはどうかとの声があり、

医療や介護などいろいろな部門の文献の抄読会を始めました。無理しないで出られる人が出ればいいということで始めたため一時は存続の危機もありましたが、その時間を活用して外部の研修に参加した職員が伝達研修をする場になり、それから毎月2回各事業所の持ち回りで企画し、今では法人全体に声をかけて時には100名を超える職員が参加する30分の勉強会になりました。

もう一つは部内の「教育係」が企画する年2回の全体研修があります。グループワークや体験型の研修に人気があり「身体リフレッシュ、心イキイキ」「音楽療法を知ろう」など手軽なテーマで楽しく学ぶ研修も開催しています。これからもいろいろな形で勉強を続けて仕事に活かしていきたいと思っております。今年も元気に頑張っていきましょう！



そろそろ花粉症の対策をはじめましょう

スギ花粉症のシーズン到来です。花粉症の原因となる花粉は50種類以上あるといわれますが、花粉症患者さんの7割はスギ花粉が原因です。スギ花粉症では発熱などの全身症状は少ないですが、口の渇き、咽の違和感、皮膚のかゆみなど、鼻や眼以外の症状を訴える方が多いことがわかってきています。ですから、ご自分でできるセルフケアとしては、外出時にマスク、メガネをするだけでなく、帰宅したら手洗い、うがい、洗顔をして原因の花粉を体の中に入れないようにする努力が必要です。最近の内服薬は眠気が少ないもの、

1日1回で効くもの、水がなくても口の中で溶けるものなど、いろいろな種類があります。使用時期は花粉飛散開始とともに内服を始める初期治療が一般的で、症状が出現してから服用し始めるより効果が高いことが分かっています。是非、医師にご相談下さい。



環境省の「花粉総飛散量及び飛散開始時期の予測」によりますと、「今シーズンは昨シーズンと比較すると、一部の地域を除き、全国的に多くなると予測されます。」とのこと。また、「スギ花粉の飛散開始時期は、全国的に前シーズンよりやや早くなるものの、例年よりも3日前後遅くなると予測されます。」との事なので、早めの対策を行いましょう。

【環境省花粉情報サイト】 <http://www.env.go.jp/chemi/anzen/kafun/>

大腸内視鏡検査ってどんな検査？

◎大腸内視鏡検査とは…

肛門から、内視鏡を挿入して大腸の内腔を直接観察し、大腸の病気を診断する検査です。この検査で、便潜血・腹痛・下痢・便秘・血便などの原因となる大腸ポリープや炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎やクローン病など）や、大腸癌の診断に役立っています。

○検査前日

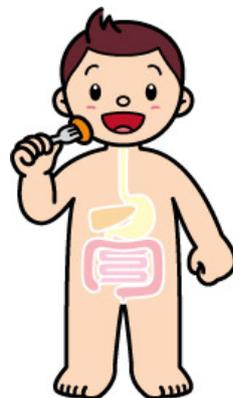
- ・検査食（エニマクリン）を召し上がっていただきます。
- ・午後、下剤を服用していただきます。

○検査当日

- ・朝、来院し、下剤を服用して、大腸をからっぽにして検査を行います。検査は、概ね20～30分程度で終了します。鎮静剤等を使い痛みや不安をやわらげて検査することが可能です。主治医にご相談下さい。

○注意事項

- ・お薬によっては、検査前に服用の中止が必要になります。主治医にご相談ください。



【藤野幸夫先生】（川越胃腸病院 副院長）

11月より、毎週木曜日午前中の、胃・大腸内視鏡検査担当となりました。

検査をご希望の方は、主治医にご相談下さい。なお、検査は完全予約制となっております。

お問い合わせ

霞ヶ関南病院 外来直通電話

049-239-7272

までお問い合わせください。

霞ヶ関南病院 外来担当医一覧表

(平成 24 年 12 月 1 日より)

管理者:伊藤 功

		診察室	月	火	水	木	金	土
内 科	午前	1	池田 弘	小峰 妙子	長澤 逸人	立川 太一 (リハビリ・脳卒中)	伊藤 功 (院長)	埼玉医大 医療センター
		2	安 佐里	伊藤 薫	池田 弘	伊藤 雅美	伊藤 薫	
	午後	1	長川 史	伊藤 薫		白岩 秀隆	伊藤 薫	
糖尿病内科 (完全予約制)	午前	3		(伊藤 薫)	松本 博		(伊藤 薫)	松本 博※1
	午後	3		(伊藤 薫)	松本 博		(伊藤 薫)	松本 博※1
リウマチ科 (完全予約制)	午前	3	安倍 達	安倍 達			安倍 達	
	午後	3						
泌尿器科 (完全予約制) 午後 15:00 まで	午前	2						清水 浩一※2
	午後	2						清水 浩一※2
皮膚科	午前	皮膚科 診察室	太田 房代	太田 房代		太田 房代	太田 房代	
	午後					太田 房代		
眼 科	午前	眼科 診察室	豊田 文彦			橋本 加奈	木下 望	木下 望
	午後						木下 望	
神経内科 (完全予約制)	午前							
	午後	2				埼玉医大 国際医療センター		
整形外科・形成外科 (完全予約制)	午前		渡邊 芳子		渡邊 芳子		渡邊 芳子	
	午後	3				渡邊 芳子※3		
検 査 (完全予約制)	午前	各検査室			視野検査※4	胃カメラ		
	午後			心エコー	視野検査※4	大腸ファイバー		
在宅ケア相談外来 (完全予約制)	午前	カフアルーム A		斉藤 正身	斉藤 正身		斉藤 正身	
	午後	外来診察室	斉藤 正身	斉藤 正身	斉藤 正身			
リハビリテーション外来	午後	(完全予約制)		太田 房代	斉藤 克子 (午前)		斉藤 克子 (隔週)	
歯 科 (完全予約制)	午前	歯科診察室	福田 文恵	福田 文恵	福田 文恵	中山 京英	福田 文恵	
	午後		福田 文恵	福田 文恵	福田 文恵	中山 京英	福田 文恵	

※受付時間 [午前] 8:30~11:00 [午後] 13:30~16:30 (診察開始は9:00/14:00からとなります)

※MRI検査 CT検査 超音波検査等 随時検査も行っております。

※各科、休診の場合もございます。ホームページでも休診情報をご覧ください。

URL <http://www.kasumi-gr.com/txt/kyuushin.html>

※詳しくは外来受付までお問い合わせください。(電話 049-239-7272 外来直通)

※1…土曜日の生活習慣病科は第2、4週

※2…土曜日の泌尿器科は第2、4週

※3…木曜日の整形外科/形成外科は第1、3、5週

※4…水曜日の視野検査は第3週

行事報告：「第19回 地域感謝祭 ふれあい広場」

昨年10月27日（土）、特別養護老人ホーム真寿園にて真寿会、真正会合同で行われる、「第19回地域感謝祭 ふれあい広場」を開催させていただきました。約1,200名ものたくさんの方々にご来場いただきました。

昨年は真寿会35周年、真正会40周年の記念の感謝祭でもあり、歌手アン・サリーさんのミニライブや地

域の方々のステージ、バザー、模擬店（ふれあい広場名物 会長うどん、焼きそば、フランクフルト、ホットドッグ、やきとり、チョコバナナ、ドリンク、金魚すくい、まぐろや鮮魚の販売、作陶展）も出店し大盛況でした。また、ふれあいキッズパークでは、子供たちの賑やかな歓声が聞こえていました。近隣地域の皆様、ご協力ありがとうございました。



行事報告：デイリハビリテーションセンター「第1回 家族のつどい」

デイリハビリテーションセンター（霞ヶ関中央クリニック内）は、平成18年に要介護4～5の方を対象とした通所リハビリテーションとしてオープンしました。その後、地域のニーズに応え、より多くの方にご利用いただくため、現在ではすべての介護度の方を対象としています。サービスとしては、リハビリテーションと入浴・食事・趣味活動等を通して、安心・安全、そして楽しく在宅

生活が送れるようお手伝いをさせていただいています。

昨年11月7日、「第1回家族のつどい」を開催しました。この会は、当事業所ご利用のご家族の方々に日々の思いを共に語り合っただき、心が安らぐ時間を過ごしていただきたいとのスタッフの思いから企画されました。当日は28名のご家族の参加があり、「口腔ケアのミニ講座」と「茶話会」を行いました。日頃の介護で苦労されていること、大変なこと、また喜びなど、茶話会の各テーブルでは話が尽きることはありませんでした。

参加されたご家族からは、「茶話会で話が弾みました。介護するもの同士、思いは同じですね。話すことで、モヤモヤがとれて、また笑顔で接することができそうです。」など嬉しいコメントもいただきました。

茶話会終了後には皆さん晴れやかな表情になられ、笑顔で会場を後にされました。今後も、利用される方やご家族の思いをしっかりと受け止められる通所リハとして、このような会を継続して開催していきたいと思っています。



デイリハビリテーションセンターにて

研修報告：口腔リハビリ研修会

真正会では看護・介護スタッフとともに、11名の歯科衛生士と、9名の管理栄養士、38名の言語聴覚士（食べる・話す練習をするセラピスト）等の多職種が、話せて食べる先にある豊かな人生にむけて、健康な口作りに日々取り組んでいます。

昨年12月8・9日、口腔リハビリの第一人者である加藤武彦先生・黒岩恭子先生（歯科医）をお招きし、口腔リハビリ研修会が開催されました。スタッフの他、地域で開業されている歯科医を含む150名程の参加者に向けて、「障害をお持ちの方にとっての噛める義歯の大切さや歯科医の役割」「楽な呼吸につながる口腔ケアのあり方」「口だけでなく顔や首の筋肉のストレッチ方法」など、多職種の関わり方について新しい視点から熱いご指導をいただきました。



参加者は、『口の中がきれいなのは当たり前、もっと顔や口の深部の筋肉までも動かそう』『多くの職種と一緒にできることがもっとたくさんある』『地域の歯科の先生方と一緒に仕事ができる』『もっと食べる喜びや楽しみを味わってほしい』『心身共に気持ちの良いケアを目指そう』と各々熱い思いを抱きました。

食べられる口・笑える口、そして豊かな人生につながる口を目指して、真正会の口腔リハビリテーションは、今まで以上に変わっていく一歩を踏み出そうとしています。



口腔リハの実技指導



震災支援ボランティア活動の報告

昨年11月23日、福島県いわき市にある仮設住宅へ真寿会・真正会職員30名で炊き出しを行なってきました。朝から雨が降ったり止んだり、気温も7℃と少し寒く、また双葉町への一時帰宅日にもなっており、あまり来て頂けないかと心配もありましたが、雨が降っていて外に出にくい方々のために、一世帯毎に宅配サービスも行いました。

400食の焼きそば、揚げたこやきを皆さんに提供し、住民の方々より感謝の言葉をたくさん頂きました。

また、福島県内の仮設住宅への巡回支援と旧騎西高校への支援活動も引き続き行なっています。今後ともボランティア活動への皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



【編集後記】

年が明けて、寒さも一段と厳しくなりました。ノロウイルスや、インフルエンザなどが猛威を振るう季節です。手洗い・うがいを忘れずに。さて、法人のカレンダーが真正会のホームページからダウンロードできます。是非、ご活用ください。

（受付でもお配りしております）

※カレンダーのダウンロード URL http://www.kasumi-gr.com/txt/info_calendar.html